

事業番号	241
------	-----

平成24年度 事務事業評価シート

事業概要	事務事業名	《交通安全施設維持補修事業》						担当部	都市建設部		
	会計区分	一般会計			事業類型	法定受託系	担当課	道路課			
	事業期間	平成12年度以前			～	平成30年度以降		担当係	維持係		
	総合計画 分野別計画	主目的	5 都市基盤		23 道路		2 歩道整備を進める				
		副目的									
	予算区分	款	8	項	2	目	5	大	3	中	
	根拠法令・個別計画	道路法									
	実施・運営方法 ※費用合計に占める 経費の内訳(割合)	直接実施・ 運営	60 %		委託	40 %		助成	0 %		
	目的 (対象をどの様な 状態にするのか)	交通安全施設の維持補修及び設置により施設の機能を向上させ、交通上の安全を確保する。									
	内容 (手段)	<p>・老朽化、損耗及び破損した防護柵、カーブミラー、道路照明灯等の交通安全施設の補修を行う。また、危険な場所に交通安全施設の設置を行う。</p> <p>・横断歩道橋は、計画的に補修及び落橋防止の地震時の対策工事を行う。</p> <p>・職員は、委託、工事の設計積算及び施工管理を行う。</p> <p>○直接経費の内訳 【委託業務内容】 交通安全施設管理委託業務（委託料:22,995千円） 区画線設置延長 32,392m 交差点表示器設置21基 カラー舗装 270m² 【工事内容】 防護柵設置 1121m(工事請負費:33,732千円) 道路反射鏡設置53基、道路照明灯設置5基 横断歩道橋補修工事 1橋(工事請負費:903千円) 藤ヶ丘4号橋</p>									
受益者負担	無										

		単位	H21決算額	H22決算額	H23決算額	H24予算額		
コスト	費用	直接経費	千円	71,040	81,366	57,630	74,700	
		正職員	従事者数	人	0.82	0.82	0.87	0.77
			人件費	千円	4,361	4,361	4,627	4,095
		その他職員	従事者数	人	0.00	0.00	0.00	0.00
			人件費	千円	0	0	0	0
		費用合計	千円	75,401	85,727	62,257	78,795	
	対前年比	%			113.6	72.6	126.5	
財源	一般財源	千円	75,401	85,727	62,257	78,795		
	国・県支出金	千円	0	0	0	0		
	その他財源	千円	0	0	0	0		

業	活動指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	防護柵設置	m	目標		1,200	1,500	1,200
実績				1,549	1,549	1,121	
道路照明灯設置	基	目標		20	20	20	10
		実績		22	22	5	
補修工事実施歩道橋	橋	目標		1	2	0	2
		実績		0	2	1	
績	成果指標名	単位		H21	H22	H23	H24
	年間交通事故発生件数(人身事故)	件	目標		—	—	—
実績				1,163	1,186	1,201	
			目標				
			実績				

事業の自己評価	平成23年度の実施結果	事業の達成状況	住民からの要望や日常の管理により確認された施設の不具合において、補修を行う。また、危険な場所に施設の設置を行うことにより、交通の利便性・安全性の向上が図られている。				
		事業実施における課題等	生活道路の交通事故が増加傾向にあり、今後、交通事故削減のため、事故多発危険箇所、交通事故の発生割合が高く、交通の安全を確保する必要がある箇所などを、整備推進する必要がある。				
		事業を縮小・廃止したときの影響	交通安全施設の維持補修及び設置は、道路を使用する全ての市民の交通上の利便性・安全性を確保する上で不可欠であるため、廃止を行えば道路環境の悪化につながるようになると思われる。				
今後の事業の方向性	方向性の判定	現状維持					
	判定理由	現状どおり事業を継続し、道路の交通上の安全を確保していくことが、道路を使用する全ての市民の交通上の利便性・安全性につながる事となるため、現状維持とした。					
	改善案等	交通上の安全を確保するため、市民ニーズ等を十分に把握し、着実に事業を実施していく。					

二次評価	方向性の判定	判定理由				
	現状維持	一次評価のとおり。				